



日本の気候が何やら怪し気になり出して、ゲリラ豪雨や竜巻、時季はずれで大型化する台風など予想もつかぬスケールの自然現象、人の体温を超えるかと思う程の酷暑を身近に憂慮したのが嘘の様に、立冬から木枯らしの季節へ小雪・大雪を経て冬至へと微妙なうねりで移ろいで行きます。

古希を過ぎて、ともすれば世の中の高速ベルトに乗り遅れては立往生の有様。苦笑の頻度が増えて「……そんなに急いで何処へ行くの?」～負け惜しみだけは一端の日常ながら折り節のそこはかとなない情趣を賞で四季の息遣いを敏感に感じ取って生きて来たつもりの私の心は、芯の疼く様な癒し難い鈍痛に苛まれています。〔年齢は前進を諦める・妨げる理由にならない〕こんな呪文が頭の中をグルグル……

黄色い着物の落語家の口癖ではないけれど「イヤ ねえ」はい、では気を取り直して三題話(?)と行きましようか。



「冬至 南瓜・柚子」

カボチャは南瓜、唐茄子などとも呼ばれるポピュラーな食べ物、中南米の原産で、日本には16世紀にポルトガル人がカンボジアから持ち込んだのが転訛してカボチャと呼ばれるようになったのは衆知のこと。秋口に収穫した実は傷つけず冷暗所に貯蔵すれば3～4ヶ月も美味のまま。おまけに澱粉が糖に分解されて甘味が増すそうです。βカロチン、ルテイン、リコピン、ビタミン

む代表的な緑黄色野菜で、癌や動脈硬化の予防、疲労を回復、粘膜を丈夫にして体を温めるので風邪の予防にもなります。

柚子はと言えば、8世紀頃には既に日本に渡来していた中国原産の柑橘で、特有の芳香とミカン仲間ではトップレベルの強い酸味はビタミンCの宝庫。熟れた実を横半分に分けて袋に入れ入浴すれば血液の循環が促されて、身も心もポッカポッカ……肩こり、腰痛、神経痛もたちどころに緩和され、これも風邪予防。

冬至の日にはカボチャを食べ、柚子湯に入る風習は、今も昔もとても理にかなった健康法のようなです。

先日、知人の家に、晩秋の陽を浴びて黄金色に輝く実をたわわにつけた柚子の木があるのを思い出して柚子もぎをさせて貰いました。

手痛い洗礼は葉裏に潜む鋭いトゲ、嫌という程刺され跳び上がった拍子に私の天敵である巨大女郎蜘蛛の巣に引っかかり、這う々の体で退散しました。

戦利品のコブシ大の柚子二つ、立冬に根原から届いたカボチャ殿と冬至を待っています。K・H





国文祭を終えて

全国の色々な文化や芸術活動を発表・鑑賞する場を設け、沢山の文化や人との出会いと交流を楽しむ国内最大級の文化イベント、それが国文祭(国民文化祭)です。富士宮市でもいくつかのイベントが開催されました。



国文祭 アートギャラリー in Fujinomiyaの感想

皆さんは10月24日から11月8日まで、市民文化会館を初め市内の多くのギャラリーで行われた有名芸術家の展示作品を鑑賞されましたか。私は誠に申し訳ないのですが、今まで国民文化祭なる催しを全く知りませんでした。国民体育祭すなわち国体の文化版のようですが、今回静岡県が当番県ということで始めて知りました。今回は実に24回目と言う事でびっくりしました。それぞれ県内各市町村で計画し、各種の催しが市長村ごと実施されました。

富士宮市ではフードフェスタ、お雛子の祭典、ギャラリーアート、音楽祭、バンドとパフォーマンス等が開催されました。それぞれ多くの参加者で賑わったようであります。

私もアートギャラリーを視察させてもらい、素晴らしい作品を堪能させていただきました。

市内で活躍中の画家、陶芸家や染色家また造形作家や普段は見ることの出来ない有名な芸術家の作品を身近に見ることが出来、とても感激いたしました。

中でも池田満寿夫さんの版画作品を奥さんだった佐藤陽子(バイオリニスト)さんが解説しミニバイオリンコンサートまで行われました。佐藤陽子さんのバイオリンなど滅多に聞くことは出来ません。それを富士宮でしかも無料で聞くことが出来るなど、国文祭とはすごいんだなと思いました。

富士宮にはプロ、アマの芸術家が大勢活躍しています。また、小さいながらも画廊、ギャラリーも多く点在しています。本格的な美術館はなくなりましたが、今後ぜひ、富士宮市にも美術館や博物館などが造られ芸術文化がますます発展することを期待するところであります。

H・S



47年に一度巡りくる国文祭

『富士の恵みの音楽祭』～湧水が奏でるハーモニー～・・・平成21年11月8日、富士宮市が催した数々の国文祭イベントのアンカーである。文化会館大ホールの大舞台に集った老若男女の町の音楽家たち300名。富士山に響けとばかりの演奏と合唱は圧巻であった。



殊に、大人達に混って、フル・オーケストラで見事な歌を披露した“富士宮少女合唱団”の可憐な子供たちには、かけがえのない貴重な体験と宝物として、幾重にも成長して欲しいと願う拍手が鳴り止まなかった。

ゲストの新井満さん(千の風になって)のユニークでユーモラスな暖かいトークは聴衆を魅了し、容易にはその場をたち去り難い感動と興奮で、いまだに微熱が続いている。

K・H



最近のクリスマス事情

♪今日は楽しいクリスマス、サンタクロースがやってくる♪と世界の子供たちの“ゆめ”を育む行事として親しまれている「クリスマス」は、今から2500年ほど前に誕生した、キリストの降誕を祝うお祭である。昔からサンタクロースはクリスマスの前の晩、煙突から入ってきて靴下に贈り物を入れていくと言われていた。子供たちはこれを楽しみにしているのである。

わが国では戦後、宗教に関係なくクリスマスが盛大に行われるようになったが、これはお店の販売上利用されてきた。ところが最近では各個人の家庭でも競って派手な飾り付けを見かける。中には各家庭を巡回して見物するツアーもあるやに聞いている。

これに掛ける経費は相当なものと思うが、人々の気持ちを和ませてくれることは確かである。この近辺では御殿場の時之栖が有名だが、今年はいつよりも1ヶ月近く早くから見事なイルミネーションが点灯している。一見の価値はあるように思う。

皆さんのご家庭でもささやかなクリスマス気分を味わってみてはいかがだろうか。

H・S



メリークリスマス ☆inにしの市

日時：平成21年12月8日(火)
15:00～夕方頃
場所：にしの市会場内
(パチンコタマガク前駐車場)

サンタクロースが
お子様に
キャンデーを
プレゼント!



たこたこあがれ in富士山



見る・遊ぶ・食べる
イベント盛りだくさん!!

日時：平成22年1月23日(土)
10:00～15:00
(雨天24日順延)
場所：朝霧アリーナ

主催：たこたこあがれin富士山
実行委員会・富士山西麓会
後援：富士宮市・(社)富士宮市観光協会
問合せ先：TEL 0544-27-5240

平成21年度 富士宮市ボランティア連絡会 ふれあいトーク

日時：H.22年1/24 (日)
10:00～14:00
場所：富士宮市総合福祉開館
(救急医療センターの隣)

■主催
富士宮市ボランティア連絡会
富士宮市社会福祉協議会
■問合せ先
富士宮市社会福祉協議会
地域福祉係 TEL0544-22-0054

ゆく年くる年

年を取ったせいか、一年が馬鹿に早いよう、などと隣の奥さんや裏のお姉さんと道はして立ち話の挨拶をする、めくる暦ももう後がない。

今年の大河ドラマ天地人も最終回を迎えた、わが身を捨て義を貫き大切なものを守りぬいた直江兼続の愛の心は400年の時を越え、ドラマの向こうから時には涙をも添えて私たちを楽しませてくれた。

先頃、ガイドボランティアの草津温泉一泊研修旅行の仲間に参加させて貰った。旧軽井沢では期間限定の生ワインの美味しいのを見つけたり、三笠ホテルの脇を通過して、まだ雪の残る坂道を登り、高さ3メートルの白糸の滝を見、浅間山の噴火、鬼押し出しを経て、草津へ、温泉も宴会も申し分なし、冬の草津温泉の9階の宿の窓から見た夜明け前、大きな日の出の太陽に部屋の仲間皆で、今日の幸せを予感し、思わず手を合わせた。帰り、小布施で北斎の富士山の山上を、黒い雲に乗って天にのぼる竜の絵などを見、栗きんとんをおみやげに、仲間との心おきない幸せな旅を終わったのでした。

そんな時、イエメンの首都サヌア付近で、国際協力機構の支援プロジェクトの日本人、真下さんが、小学校建設現場へ行く途中イエメン人の運転手さんと共に拉致され、8日ぶり、解放されたというニュースを聞いた。怖くて長い8日間だったと記者に答えていた。

今年もあとわずかになった。ゆく年、過ぎた日々、今年もいろんなことがあった、生活の為に忙しい日々の中、辛い悲しいニュースやドラマに涙し、旅行の幸せに喜び、泣いたり笑ったり、無事な小さな幸せを沢山感じた年でもあった。でもなぜ、私は一年が(あっ)という間に思えるのだろうか？

真下さんが拉致された8日が辛く長かったことを思うと、過ぎた時間の速さは、平和と幸せの贈り物なのかも知れない。だとしたら、くる年の・・・、次の自分へ会いにゆこう!、富士宮の明日にも会えるかも知れない。

R・K

おせち料理

最近季節の節目に行われる行事には、あまり関心をおく人が少なくなってきたようです。しかし、お正月のおせちとお雑煮だけは食べるようであります。

おもちを家でつく人は少なくなりましたが、それでもお雑煮だけは手作りする人が多いようです。おせちはすべてを手作りするのは大変で、煮しめやなます以外は購入する人が多いのではないのでしょうか。いやいや最近はおせち料理を丸ごとセットで購入する人が増えているらしい。お正月だからこそ普段味わえないお料理を味わいたいものです。また、おせちにはいろいろな食材にいわれ(由来)がある様で、これも面白くおせちを頂きながら味わって欲しいものです。

- ★数の子…卵の数が多いことから「子孫繁栄」を願う。
- ★田作り…ごまめ(カタクチイワシ)の飴焼き。昔ごまめを田畑の肥料として使ったことから「豊作」を祈って食べる。
- ★蓮根…沢山の穴が開いており、将来の見通しが利くように食べる。
- ★昆布巻き…「喜ぶ」と言う言葉との語呂合わせ。
- ★栗きんとん…金のかたまりを表し「豊かな暮らし」を願う。
- ★黒まめ…まめに働き(勤勉)まめに暮らせる(健康)ことを願う。
- ★たたきごぼう…ごぼうは根が深いので基礎がしっかりする事を願って。

この由来は地域によっても違い、いろいろな説があります。私は母親から子供の頃このように教えられました。さて、今のお母さんは子供にどの様に教えているのでしょうか？

H・S

